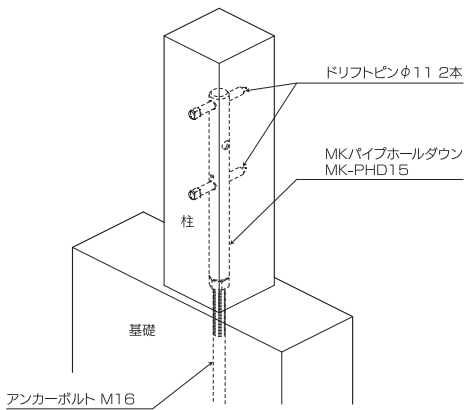
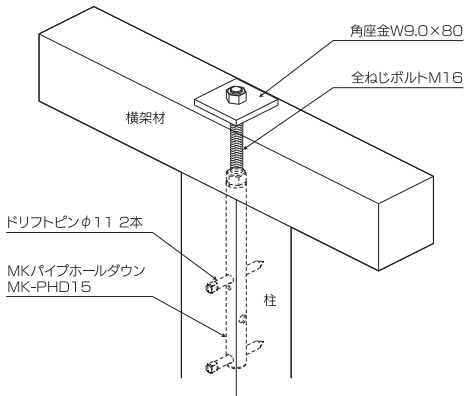
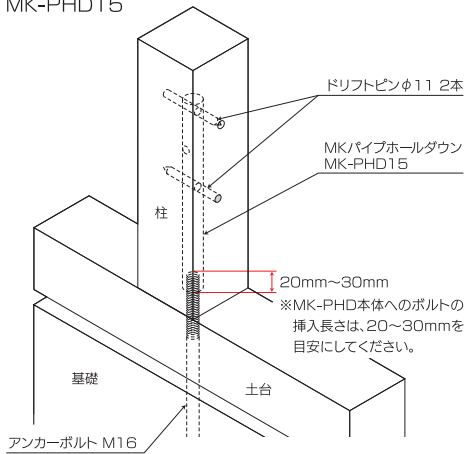
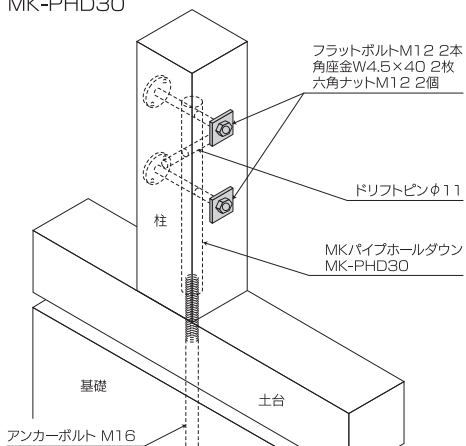


■取付図

MK-PHD15

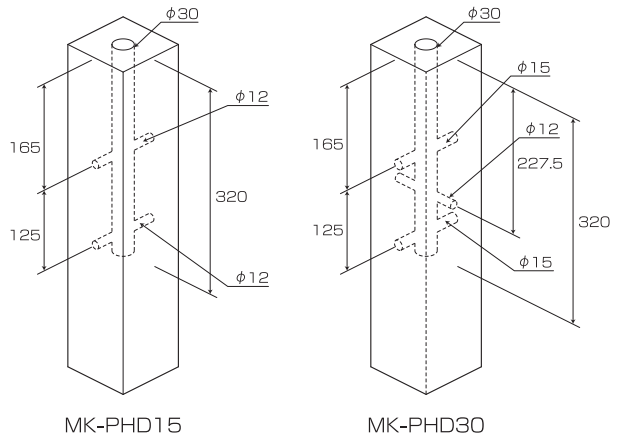


MK-PHD30



●詳しくは別途お問い合わせください。

■木材加工図



用途・特徴

1. MKパイプホールダウン(以下MK-PHD)は、柱と基礎、柱と横架材、上下階の柱を緊結する金物です。
2. 内付け(柱内包)タイプの為、壁パネル(断熱材)の欠き込み不要です。
3. 木ホゾの代わりにM16のボルトを使用する為、せん断強度は木ホゾの1.5~2.0倍あります。
4. 杉・桧等のムク材にも使用出来ます。

使用方法

●柱脚使用

1. MK-PHD本体(15kN・30kN兼用)をM16のアンカーに緊結します。
※MK-PHD本体へのボルトの挿入長さは、20~30mmを目安にしてください。
2. 柱をMK-PHD挿入後、30kN用では、ボルトM12を2本・ドリフトピンφ11を1本打ち込み固定します。
また、15kN用では、ドリフトピンφ11を2本打ち込み固定します。(取付図参照)

●柱頭使用

1. 柱を立てる前にMK-PHDをセットします。30kN用では、ボルトM12を2本・ドリフトピンφ11を1本打ち込み固定します。また、15kN用では、ドリフトピンφ11を2本打ち込み固定します。
2. M16全ねじボルト又は、M16両ねじボルトをMK-PHDにセットします。
※MK-PHD本体へのボルトの挿入長さは、20~30mmを目安にしてください。
3. 柱を立て横架材を落とし込みます。
4. 角座金(W9.0×80)又は(RW9.0×φ90)をセットし、ナットで緊結します。(取付図参照)
※ボルト・ドリフトピンのサイズは木材に合わせてサイズをお選びください。
※MK-PHD本体を挿入する柱には、φ30mmの穴をあけてください。
※ドリフトピンを挿入する柱には、φ12mmの穴をあけてください。(木材加工図参照)

商品名	MKパイプホールダウン15(105用) MK-PHD15-105 MKパイプホールダウン15(120用) MK-PHD15-120 MKパイプホールダウン30(105用) MK-PHD30-105 MKパイプホールダウン30(120用) MK-PHD30-120
試験機関	富山県林業技術センター 品質性能試験(引張=MK-PHD15:15-33-1、MK-PHD30:15-33-2 せん断=MK-PHD15:15-33-3、MK-PHD30:15-33-4)
材質	パイプ:JIS G 3452 配管用炭素鋼管SGP ナット:JIS B 1181 附属書JA:2014 強度区分4Tを満足する炭素鋼
表面処理	クロメートメッキ(JIS H 8610 Ep-Fe/Zn 8/CM2)
入数	10本/ケース MK-PHD15-105=本体:10本・ドリフトピンφ11×102:20本 MK-PHD15-120=本体:10本・ドリフトピンφ11×117:20本 MK-PHD30-105=本体:10本・ドリフトピンφ11×102:10本 MK-PHD30-120=本体:10本・ドリフトピンφ11×117:10本